

道徳科学習指導案(第1学年)

主題名「一人一人が参画する集団」〔学指要領：C15 よりよい学校生活、集団生活の充実〕

I 主題設定の理由

1 価値観

人間は、他の人間と関係をもち集団をつくり上げ、様々な集団や社会の一員として生活している。生徒にとって学級や学校は、生活の大半を過ごす大切な場であり、それぞれ目標や立場が異なる集団に所属しながら、共同して日々の生活を営んでいる。人がそれぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。そのためには集団での規則を守り、互いに協力し励まし合う関係づくりをすることが重要である。集団の中で自分の役割や責任を自覚することは、集団生活が充実するだけにとどまらず、自己の資質・能力を高め自分自身の向上につながることになる。

中学生の時期は、自分が所属する集団にのみ関心を寄せ、自分たちの利益のみを追求し、自分と関わりが薄いと思われる集団や成員に対して無関心になってしまうこともある。また、生徒一人一人が学級や学校で自分自身の役割と責任を果たすことや、教師や学校の人々に支えられたり指導を受けたりしながら、互いの人間関係を深め、協力して生活することを通して、尊敬や感謝の気持ちが育まれていく。

そこで自らの所属する集団の意義や目的を理解するとともに、個人の力を合わせチームとして取り組んでこそ達成できることなど、集団の在り方について多面的・多角的に考えられるようにすることが大切である。

2 生徒観

本学級の生徒は、

～ 中 略 ～

これらのことから、本授業を通して、「よりよい集団になるためには、一人一人が自身の役割と責任を自覚し、協力し合うことが大切である」という集団生活の意義を理解し、それらを自立的に捉えて意識しようとする道徳的判断力を育てたい。

3 教材観 教材名「みんなで成功させよう」(出典：中学道徳1 光村図書)

文化祭で、信悟のクラスは「想像の生き物展」をすることになった。ドラゴンのグループを引き受けた信悟であったが、メンバーへの仕事の指示や分担がうまく行かず、困ってしまっていた。そこで、他のグループのリーダーに、どうすればグループのみんなをうまくまとめられるのかをきいてみることにし、改めてリーダーとして何ができるかを考え始めるというあらすじである。

本教材は、自分と似たグループのメンバーが抱える課題に共感し、どんな要因があるとうまくいくのか、反対にどんな要因があるとうまくいかないのかを比較・検討する活動を通して、物事を成功させるためには、集団を率いてくれるリーダーに任せきりにしてしまうのではなく、自身の役割と責任を果たすことの大切さについて考えることができる。

そして、生徒自身が学級やグループで協力し合ったこれまでの経験と結びつけ、生徒自身の所属する集団がよりよい集団になるために、自分にどんなことができるのかを考えることで、学校生活の充実につなげることでできる適切な教材となっている。

II 本時の学習

1 ねらい 集団をつくるメンバーの大切な意識を考える話し合い活動を通して、よりよい集団になるための一人一人の意識のもち方に気づき、学校生活の充実を図ろうとするための道徳的判断力を育てる。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問) 予想される生徒の反応 [S]	○指導上の留意点
1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(5分) S: 意見を出してくれる人がいること。 S: みんなを引っ張ってくれる人が必要。 <めあて> 集団での活動をより良くするためには、どんなことが大切なのだろうか。	○行事や話し合いを成功に導くためにどんなことが大切なのかを想起できるよう、今までの行事を振り返る。 ○生徒の意見を板書した後、自分事として考えられるよう、事前に生徒から集めたアンケートを提示する。【★提示】
2-1 教科書の教材文前半の範読を聞く。(10分) 【★共有】 2-2 教科書の教材文後半の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(20分) ◎「リーダーにとって大切なことはなんだろう？」 「フォロワーにとって大切なことはなんだろう？」 S: (リ) 自分が最初に動く。 進み具合を都度確認する。 みんなの考えを聞いて判断する。 S: (フ) 自分の意見をはっきり言う。 困ったらリーダーに相談する。 協力しようとする気持ちをもつ。 ◇「リーダーとフォロワーに共通していることはどんなことだろうか？」 S: リーダーもフォロワーも自分の意見を伝える。 S: 1人1人がメンバーであると自覚した行動をとる。	○それぞれのメンバーの課題をジャムボードに挙げ、共通理解が図れるよう、他の考えにも目を向けるよう促す。 ○行事を成功させるには、「リーダー」のみならず、「フォロワー」が必須であることに気付けるよう、意図的に生徒の発言や考えを取り上げる。 ○スムーズに話し合いが始められるように、先にワークシートに自分の考えを記述するように促す。 ○個人の考えを班の意見としてまとめるために、他者の意見同士を比較する。その際、少数意見も大切にできるように伝えるときも、机間支援を行う。 ○それぞれの班の意見を共有するため、リーダーにとって大切なことを赤いカード、フォロワーにとって大切なことを青いカードに大きく書き、視覚的にわかりやすくなるように板書を整理する。 ○どのような考えを大切にしたいのかを聞くため、挙手や指名でどんな話し合いをしたのかを尋ねる。 ○共通していることに目を向けるため、近くの生徒同士で話し合った後、挙手や指名でどんな話し合いをしたのかを尋ねる。
5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。(10分) 【★保存・提出】 <振り返り> S: これまでは、リーダーがしっかりしていれば良い集団だと思っていたけれど、この授業でフォロワーも意見を言ったり、相談したりと、できることはあるのだと気付いた。これからは自分のできることに積極的に取り組み、リーダーを支えたい。	○今回の授業での学びを実感できるよう、授業始めの自分の考えと比較するよう促す。 ○今後の自己の生き方につなげられるよう、道徳的価値に対する考えや、新たに気付いたことを記述するよう促す。

◆評価の視点

授業での記述・振り返りから、「集団生活の充実について、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。

授業での記述・振り返りから、「集団生活の充実について、自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。